

人々の営みと自然が織り成す ふるさとの宝 夏にきらめく

第36回

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいくふるさとみ



夏、飯館村といえば、特筆すべきは美しい星空です。スマートフォンだけでなく、写真撮影にチャレンジしてみてください。私たちの周りには、この大自然、美しい景観は決して当たり前のものでなく、ふるさとを愛する人々によって守られてきたものです。このかけがえのない財産の揺るぎない価値を再発見し、力強く発展させていきたいと、村の田畑、山々、夜空を眺めるたび思いを新たにします。愛すべき飯館村の価値を創造し、守りゆくのは他でもない、私たち村民一人ひとりです。今年も「あぶくまもち」の切餅が、セブンイレブンの冬ギフト2025に載りました。製品化や6次化される「あぶくまもち」を是非お手に取り、味わっていただきたく存じます。皆様、この秋もどうぞ御身大事にお過ごしください。



ある夜に見上げた飯館村の星空です。

長らく暑い日が続いておりましたが、季節の変わり目、すっかり秋らしい気候に切り替わった晩夏。
8月末、郡山市のc a t o eさんにて、「飯館村の夏」をテーマとしたランチイベントが開催されました。加藤シェフ自らが村に来訪し、宝探した食材の数々を使つてのフルコースの提供。本当に贅沢で芳醇なマリージュを味わう中で、また一段と飯館村の食材の可能性の広がりを感じました。生産者の皆様が手塩にかけ、丹念に育てられた産品を皆様に楽しんでいただけること、これほどの喜びはありません。
また、飯館村には多くの学生が訪れています。東京大学、大阪大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、福島大学の皆様の他、今年は岐阜高校の先生方にもお会いしました。私も熱心な学生の皆様からの質問に、時間を忘れてしまうことも多々ありました。「ハシドラができて買い出しが一気に便利になった」「飯館村であるB B Qは最高」と言うお声も聞き、嬉しく存じます。

■ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
阿部 心音 ちゃん ここね	智 さん 美由喜 さん	草 野
大和田 律 くん りつ	諒 さん 裕日子 さん	小 宮

HAPPY BIRTHDAY!

ひとのうごき 令和7年9月1日現在

人 口	今月 (前月比)	8月1日～31日までの人口動態
●男	2,241人(－13)	転入 2人
●女	2,159人(－10)	転出 17人
計	4,400人(－23)	出生 0人
世帯数	1,799戸(－1)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
佐藤 和生 さん	73	関根・松塚
赤石澤 武光 さん	89	大久保・外内

ご冥福をお祈り申し上げます



(8月21日から9月15日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

空き家サポーターMessage



住み継ぐ村の宝

住まいのこれからについて一緒に考えましょう!

空き家サポーター



渡邊守男さん(小宮)



片付けのお悩み、ありませんか

いいたて空き家サポーターの渡邊守男です。空き家サポーターは村の資源でもある住まいの利活用を提案しています。皆さん、「完璧に片付けないと人に貸せない」と思っていないですか。ある所有者さんは、手放せない荷物は家の2階部分に収納し、1階部分だけを貸し出す形で賃貸に出しました。結果として単身で住みたい借り手のニーズにも合い、所有者さんにとっては片付けの負担を減らしつつ住まいを活用できた事例が生まれました。柔軟な活用方法があることを知り、できるところから一歩を踏み出してみませんか。

空き家空き地バンク・住まいの利活用に関するご相談は
いいたての暮らしをつなぐステーション3ど
(いいたて移住サポートセンター)
伊丹沢字伊丹沢578番地1
☎0244-68-2850

いいたて村の道の駅
までい館内にもサテ
ライトがあるよ!



皆さんが広報委員!

フォト

いいたて **PHOTO** リレー

月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。

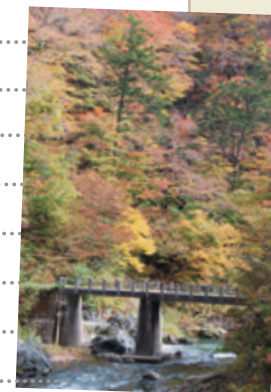


撮影 寺岡清之さん(飯樋町)
テーマは「食欲と紅葉の秋」



写真撮影が趣味で、自然豊かな村の風景を撮影している寺岡さん。左の写真は自宅の庭で育てているシャインマスカットを撮影した1枚です。「おいしいブドウを自分でも育ててみたいと思い、これも趣味で育てています。3年前に鉢で買った苗を育て始め、初めて実を付けました。今年は5房でしたが、来年はもっとたくさんできたらいいですね。食欲の秋にピッタリの写真です。

右の写真は、震災前に撮影した紅葉の写真です。小宮地区と南相馬市の境にある橋で撮影しました。「見事な紅葉で、額に入れて家に飾っていたら、家を訪れるいろいろな人に“きれいだからぜひほしい”と言われ、配ったりもしました。広報に載ることで、より多くの人に見ていただけたらうれしいです」と話していました。



11月号
10/15締切

例えば…「紅葉」「ハロウィン」「スポーツ」「読書(本)」をテーマに。

12月号
11/14締切

例えば…「七五三」「柿」「冬の始まり」「菊の花」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選 考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613